

1 級 104 人、2 級 3 人が受検

鉄筋組立て技能検定実技試験 関西鉄筋工業協同組合

関西鉄筋工業協同組合（岩田正吾理事長）は 2 月 15 日と 16 日の二日間、堺市美原区の竹中工務店西日本機材センターで、平成 25 年度後期・鉄筋組立て技能検定実技試験を実施しました。今回は二日間で 1 級 104 人、2 級 3 人の合計 107 人が受検しました。

実技試験の課題は、あらかじめ曲げ加工された鉄筋を使用し、基礎・柱・基礎梁の取り付け部を配筋図と仕様にしたがって組み立てるもの。試験時間（標準時間）は 1 級が 1 時間 40 分、2 級が 1 時間 20 分で、それぞれ 30 分、20 分の延長が認められているが、標準時間を超えた場合はいずれも、その超過時間に応じて減点されます。受検者は、それぞれ合格めざして真剣な表情でこれら課題に取り組んでいました。

これに対し、戸田裕雄副理事長を首席とする 13 人の検定委員(補佐員を含む)は配筋精度や仕上がり寸法、結束漏れなど終始厳しい目でチェックし、組み上がった作品の採点を行っていました。また、試験会場には大林組、清水建設、鹿島、三和建設らの施工管理・調達担当者に加え、組合が出前講座を実施している大阪府立布施工科高校の担当教諭とこの 4 月から組合加盟企業に就職する同校の生徒らも見学に訪れました。

戸田副理事長は「職人が減り続ける中で、100 人を超える受検者が資格取得をめざしてくれるのは心強いこと。今回も元請企業からも多くの方が見学に来られ、技能の継承に理解が深まりつつあると感じている。また、試験会場を提供していただいた竹中工務店にも感謝している」とコメントを寄せました。なお、今回の実技試験の合格者の発表は 2 月 9 日の学科試験の結果と同じく 3 月 14 日に行われます。

※ 戸田首席検定委員以外の検定委員・補佐員は次の通り（敬称略）

- ・ 西岡義克（西岡鉄筋工業）▽原田浩一（近畿施設工業）▽田中勲（関西スチールフォーム）▽又野吉史（又野鋼業）▽恵谷信（恵谷鉄筋）▽中嶋利之（ワイ・エー・ナカジマ）▽田村晃一（田村工業）▽富田勇（富田興業）▽長木鉄次（長木鉄筋）▽鎌田厚（鎌田鉄筋工業）▽辻本浩二（辻本鉄筋工業）▽今村俊郎（吉岡工業）

受験状況



検定状況

